5年保存

基安安発第1003002号
平成17年10月3日

都道府県労働局労働基準部安全主務課長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長

エレベーター昇降路内の補修作業について

標記について、東京労働局労働基準部安全課長から別紙甲のとおり照会があり、別紙乙のとおり回答したので了知されたい。

(別紙甲)

事務連絡
平成17年9月30日

厚生労働省労働基準局安全衛生部
安全課長殿

東京労働局労働基準部
安全課長

エレベーター昇降路の補修作業について

近年、エレベーターの昇降路内において、搬器上部を作業床として用いる例がみられるところであるが、エレベーターの補修作業に当たって、当該エレベーターの搬器を変更することなく作業床として用いる限りにおいては、これを作業のために仮設された足場とはみなされず、したがって当該搬器はゴンドラには該当しないものと取り扱って差し支えないか、お伺いします。

(別紙乙)

基安安発第1003001号
平成17年10月3日

東京労働局労働基準部
安全課長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部
安 全 課 長

エレベーター昇降路内の補修作業について

平成17年9月30日付け事務連絡をもって照会のあった標記の件については、貴見のとおり取り扱われたい。

おって、エレベーターの昇降路内における検査、点検及び補修作業において、労働者の高所からの墜落、搬器と構造物との狭圧、回転部分への巻き込まれ、カウンターウェイトとの接触、充電部分による感電等の危険が生ずるおそれがある場合は、下記に留意の上、必要な安全対策を講ずるよう指導されたい。

記

- 1 エレベーターの不意の起動を防止するため、安全装置の調整、操作部分への施錠、運転を禁止する旨の表示、監視人の配置等を行うこと。
- 2 昇降路の出入口、搬器上部からの墜落を防止するため、立入禁止、手すりの設置、安全帯の使用等を行うこと。
- 3 エレベーターの起動に伴う回転部分への巻き込まれ、カウンターウェイトとの接触等を防止するため、立入禁止、囲い、覆い等を行うこと。
- 4 電気機械器具の充電部分、充電電路への接触又は接近することによる感電を防止するため、囲い、覆い、開路、通電禁止の標識等を行うこと。
- 5 作業を行う床は堅固なものであること。
- 6 当該エレベーターの積載荷重の遵守を徹底させること。

[業務区分]

大分類 安全衛生関係

中分類 安全衛生関係

小分類

[保存期間]

5年保存

基安安発第1003001号

平成17年10月3日

東京労働局労働基準部安全課長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長

エレベーター昇降路内の補修作業について

平成17年9月30日付け事務連絡をもって照会のあった標記の件については、貴見のとおり取り扱われたい。おって、エレベーターの昇降路内における検査、点検及び補修作業において、労働者の高所からの墜落、搬器と構造物との狭圧、回転部分への巻き込まれ、カウンターウェイトとの接触、充電部分による感電等の危険が生ずるおそれがある場合は、下記に留意の上、必要な安全対策を講ずるよう指導されたい。

記

- 1 エレベーターの不意の起動を防止するため、安全装置の調整、操作部分への施錠、運転を禁止する旨の表示、監視人の配置等を行うこと。
- 2 昇降路の出入口、搬器上部からの墜落を防止するため、立入禁止、手すりの設置、安全帯の使用等を行うこと。
- 3 エレベーターの起動に伴う回転部分への巻き込まれ、カウンターウェイトとの接触等を防止するため、立入禁止、囲い、覆い等を行うこと。
- 4 電気機械器具の充電部分、充電電路への接触又は接近することによる感電を防止するため、囲い、覆い、開路、通電禁止の標識等を行うこと。
- 5 作業を行う床は堅固なものであること。
- 6 当該エレベーターの積載荷重の遵守を徹底させること。